

WFF NewsLetter No. 68

1978年8月20日・戦争抵抗者インタ-日本部・大阪府あべの区旭町2-12-2 WR1(ウリ)

聖条原線に二号炉再稼働議の「ダイイン」

関西西電力前にねころがって

FU & KOU



久しぶりのデモ参加。四日原水禁の「生存のための国際連帯会議」が閉幕したあと関西電力本社への抗議行動をするというのでMさんでかけた。

少しおくれて扉町公園につくと、もうかなりの人出。五百人以上はいるかな。その半分以上を占めて、真青なそろいのビーチハットをかぶった隊列。午後三時半のはげしい陽ざしをあびて、あまりのあざやかさにおもわず「うわあ」と声をあげてしまった。日ごろユニホームやそろいのゼッケンスタイルは何となくいやなんだが、今日はそれほど気にならな。民学同の人たちだということだ。

(1)

国際会議に出た代表の人たち数十人のうち外人が二十人近くもまじってにぎやかだ。ところが、このはなやかでのんびりした集りに、にあわないのが、よろいかぶとの機動隊。かなりの数。

(2)

二つにわかれた前隊列の最後尾に私たちはつく。すぐうしろの民学同隊列からシェプレヒコールがおこる。さすが、学生はいせいがよい。もとも何をいつてるのか何度聞いてもわからないのはナンセンス。フォーク歌手の古川豪さんが私の前で歌い出す。彼の作詞作曲「原発なんかいらない」。うたいやすく美しい曲だ。横へいって教えてもらいうたってみる。みんながしだいに声を出す。七十年頃の連日のデモを思い出した。

(3)

前後をみわたすと延々千人近いデモの列。半分ぐらいは労組、学生などの動員？かもしれないが、たまに、こんなに人数の多いデモもよいもんだ。

オ一、機動隊がこんなについてくるなんてケイキがついていいじゃない。

ところで、この機動隊の隊長、としては四十五ぐらいかな。家に年頃の娘か息子がいるんじゃないかと思うんだが、このおじさんなかなかのはりきりようで、ちよっと道路中央へはみ出した一人の学生をつきとばした。でしやばりな私はつい「そんな粗暴

工の生民の生

8月15日(土)向ヶ丘(神戸市)の万原線(電線)の工事(味)をからめます(三〇〇円) 7月23日(土)7月25日(日)をからめます。と申すのみ。

あの時、「声を出さない」ということは、みんなに
理性をとりもどさせる重大な作用おもっている。

ひよっとしたら、集団的には初めてともいえるこの
ダイ・インは、ほんの一、二分だけだったが、なかなか
面白いものだった。そして、これから何度もトレ
ニングのやりながら、もっと事前に非暴力直接行動
としての意味を全員に知らせるような打合せ、ミーテ
ィングが必要だ。もちろん、特に一般市民に、そしてケ
イツにも非暴力の意味を徹底的にPRしなければなら
ぬだろう。

5

流れ解散のあと、関電へ外人代表十人くらいを交え
た私たち二五人くらいが、美浜1号炉が九月に運転再
開することについての抗議とその理由の説明を求めに
行った。代表人数十人位にといったトラブルがあった
が、全員会議室にはいり、原子力、広報、営業三部長
と応接。

まず久米三四郎さんから専門的な1号炉の故障原因
についての質問。ところが関電の原子力部長さんは、
「その問題は、政府が充分検討した上で、大丈夫と
いうことで許可を出したので、危険はありません。」
「政府ではなく関電さん自身の見解を聞きたいので
すが。」

「政府が充分に調べて、そういつているので、それ
と同じです。」

といった具合。ぜんぜん答になっていない。植田さ
んその他も加わって追求が微に入り細にわたって答え
ができなくなると、「原子力月報」のその部分を読み

あげて、するりと身かわしてしまふ。

私には、難しい専門的なことはさっぱりわからない
し、これじやどうにもならん。関電側は、政府が政府
がと、絶対権威をふりかざすだけ。しかし、政府こそ
がいいかげんでデタラメだということは、もう誰もが
知ってることだ。

そんな技術的なやりとり約四十分。このやりとりで
何よりはっきりしたことは、「原発問題のすべてにわ
たつての大ボスは、実は政府だ」ということ。

そんな空気にしびれをきらして、ハワイからの代表
が、はっきりした日本語で

「私は、そんな専門的な知識のやりとりでは絶対納
得できませんよ。あなたの方の態度に対して大へんフン
ガイしてると、さっき日本の女性のほうが云われていま
したが、まさにその問題です。私たちの方が云われていま
問題をどう処理するつもりでしょうか。そんな技術的な
処理だけではなく、この私たちの感情が納得いくよう
に説明してほしい。美浜が動けば、放射能は風にのっ
てハワイまで飛んでくるかもしれません。その可能性
を否定することが学問的に出来ますか。私の子供、孫
にまで影響がある問題なのです。その時あなたにどう
責任をとろうというのですか」

それから次々に外人たちがしやべり出した。

「私はアメリカで弁護士をしています。公害を出し
た会社は、あのチッソのようにかならず損をしますヨ。
いまのうちに故障だらけの原子炉を売ったウエスチ
ングハウス社とGE社を訴えなさい。そうすれば私は
タダで関電の弁護をひき受けましょう」

日本に五年ほどいたというノリ・ハドルさん
「日本はどうして、アメリカの悪いところばかり輸入するのでしよう。私たちは、このおそるべき事態にどう対応していくか、きのう、今日みんな考える会議をしてきました。関電さんも私たちと同じテーブルについて考えて下さい」

「今日の話は専門的な知識のやりとりが大部分で、とても残念です。もっと誰でもがよくわかる納得いくやり方で、話し合う必要があると思います。場所も、もっと大きい講堂のようなところがいいです。専門家や技術者間だけの問題ではないのですから、中立的な司会者をたて、住民全部が納得出来るためにぜひ公聴会ふうにやりましょう。一週間後ではどうですか。私たちはすぐこのことを新聞にのせて公表し、人々によびかけます。」

とたんに関電さん「一週間後なんて、こちらの都合を考えない一方な云い方は大へん失礼だ」と、まこりでした。あんまり具体的で急所をつかれたからだろう。すると、その発言をしたジョンは、「ごめんなさい、事情がわからないので失礼な云い方をしたかも知れません。私たちの云いたいことは九月再開までにあまり時間がないということ。私たちは再開に不安をいただいています。それを何とかしたい」という思いをわかってほしいと思います。関電さんを困ませようと思っただけではありません」と、きわめていいねいにいいなおす。

それにしても、外人の提案は実に具体的だ。自分の立場から、自分の声で発言する。そのしやべり方はお

だやかで、いつもほほえんでいる。それは、責任をすぐに上の方にもっていったり、政府にもっていったりケントウしますとって問題をつらす態度とは全く対照的。個人責任の原理が発言ひとつにも貫らぬかれています。思った。

私はこんな交渉の場に立合ったのは初めてだが、実にいろいろと参考になった。はじめ、きまじめでやかた苦しかった室内の空気も一べんして、時には笑ったり、さわめいたりしながら、どの顔も（関電さんの方も）くだけてきて、みんなたのしそうになっていくのが印象的だった。

今日のデモと関電交渉の経験は、私のなかにある党派を派ぎらい、学生ぎらいの傾向を、少しばかり反省させた。

才一、民学同をもふくめて、千人のデモというところ、やはり、軍縮協（原水禁）のような組織でないと、ちよつとできない。そして質だけでなく、量もまた大きな意味をもつ。もちろん私たちがそのような組織づくりをめざすというのでなく、そのような組織の存在をケギライせず、せいぜい仲よしになって参加したり、入っていくことが大切。

才二に、会議や討論や交渉は、専門家やベテランのリーダーに、ついまかせてしまいがちだが、私たちがひとりひとりの思いをそのままに、相手に卒直にぶつけていくことが大切。つまり、専門家の貴重な知識に私たちの卒直な声に加わることによって、はじめて大きな交渉力になり、生きた話合が出来るといふこと。

あせびまぢから

160 (5)

④ 8月4日 午後、畢須校の劇団へのデモに参加。思いがけなく阿木君にあらう。神戸NDのM君もきている。朝日新聞記者に、ナンビアオペレーションのことを話す。ゴールデンハーベスト号フリー号のことで、委託した本のこと。(要朝一面に大きく掲載) 南電ビル前でのダイ・インも写真入りで二面に四段めきでのつた)

午後六時、南電との交渉途中で、ふう君をのこしてぼくは、別の場所へー原南連、日高グループ緊急打合せ。至急ピラをつくつて、7・8日現地でまくと共に新南折込みをすることになる。時向のゆとりがないので、ピラつくり二千三百枚を引受ける。

夜七時すぎからのへ女と反原発✓ノリハドルさんらを囲んで、豊中フリークルにりり子はんふる君参加。女性ばかり、約二十人ほど。

④ 8月5日 后又ら9時へ反戦・反軍を考えるティ4・イン(阿部牧師・山南三平・南松英山・本健治さんを含んで) ティ4・インに先立つて上映された映画、とくに自衛隊PRの16%へ天翔ける青春✓い学生向きへさかなの園✓には、ビックリしたナア、もう。認識不足というか、かくもすばらしい軍隊に成長してゐるなんて、おそろしくみたもののみんなが驚嘆したに

ちがいない。(無料でも貸出してくれるからぜひ一見の機会をいねえちの反軍運動を根柢から考え直さねばならぬ示唆がそこにつきつけられている。)

④ 8月6日 8日。ウリニユース・イオム通信印刷と発送・NAMAZU3号製本販売会・宛名書き・包装発送(一部)・ピラへ日高のみなさんへ✓脚文案作成(これも苦心した)・タイプ打ち・印刷・ケ日午後現地日高エキ(るり子はん外)・ピラ入れ。新南折込依頼(この反軍は早速、現地新南に大きくのりまなど、多大)

④ 8月9日 住民ひろば、何が何でも絶対反対シリィズぬ2講座へ原子力はんかいらへん✓。今月上旬の三週向・アメリカの反核反原発運動連帯ツアーに参加した和田明子さん、飯向加寿子さんの見聞・感想。米国の新しい運動のスタイル(非暴力直接行動とフェミニズムの大きな意味、そしていま原南連として取組みはじめている和歌山県原発予定地日高の現場などをみながら考えた。参加20数人。原南連の集まりつづきを、作中、印刷9月11日の会報に。)

④ 8月10日 11日。4日の南電デモで知合ったジョン・ゴーン、長崎から帰路、とつぜん其訪。役はWRLのメンバー。サンタクルズに住む活動家。年は20で若い。新南を出して、非暴力訓練のトレーナーで、ずい分あちこちの行動にも参加して、話をきけば、まじくほど、示唆いっぱいという感じ。らんばかりの小人数で話をきくのは惜しかった。(ファイルとひろ子さん)が2オのゴンちゃんをつれて来た。核があき

★八重丸の巻の基礎習練(自習解)古沢さんらが筆余の勢いでつくりあげたもの。ぜひ一読を。定価五〇〇円(千八百円)。

たゴンちゃん、大人が相手してくれないので、いたずらで何かを手にジヨンの頭を叩いた。ジヨンはゴンちゃんをやわらかく抱きしめて、叩くと痛いことを、まるでゆつくりお話をするようにないまかせた。初め泣き出して腕の中から逃げようとしたゴンちゃん、しまいに「わかつた」「もうしない」と云った。ぼくはそのゴンちゃんにもジヨンにも、ジヨンの言葉を時々通訳するファイルにも感謝した。

おしらせ

8月22日 PM 6:30 原南連が二期反原委市民講座が1回(私と反原稿)。ところ、梅田大蔵寺(201)へ。くわしくは同封ビラ参照下さい。

8月24日 和歌山県日高市現地ビラまきとリクレーション。(26音報、ひる・夜出発の三班にわけて現地で合流、老人、子供も一しよで楽しみながらやれる行動を考えています。詩対は翌日の右の集会でおしらせします。向合せは061(柳一樹)へ)

8月29日 八成田三二五七を支え共に闘う会。ありきたりの救援の集会でなく、みんなで心がたかまり寄りあって、獄中の役女にとにかくようなものをいしていとプロگرامを組んでいます。ミヨさんを三里塚からきてくれます。へ同封ビラごらん下さい。尚、当日役女が獄中から送つてきたお通余の手紙の文集が参加者に渡される筈ですが、ぼくはこのコピーをみてホントに感心というか驚嘆しました。当日ぜひ参加して(おなま)むかひ会を！とねがっています。

8月30日 PM 1:30 ところ解放センター(原稿下車)へ。映画「三浦敬太郎」・右巻に共闘し続けた会

④ 12日 ふう吾 宮本れいさんの面会と差入れ。
④ 14日 午後一時半〜五時、日消連事務所へ(暫く料金を滞り運動についての下相談会)。七時〜八時ウリ事務所へ、次の日高行動についての検討決定相談の集り。この夜、東京からえしびりに丁君来泊。ちよつとぬけて、カマの夏祭りに行く。

④ 15日 右の時反民懇の八元号の法制化を許さない8.15集会へ参加。20人ばかり、心かいあつて、桑原重夫さんの話を中心。桑原さんの話し自分の実感がこめられていて、打ちとけた感じでよかつた。

★八重丸の巻とは何か?好評で本文殺割?いま手許に残部なく9月につくりますのでしばらくお待ち下さい。